

富士宮市 世界遺産のまちづくり 整備基本構想

概要版



令和7年3月 改定

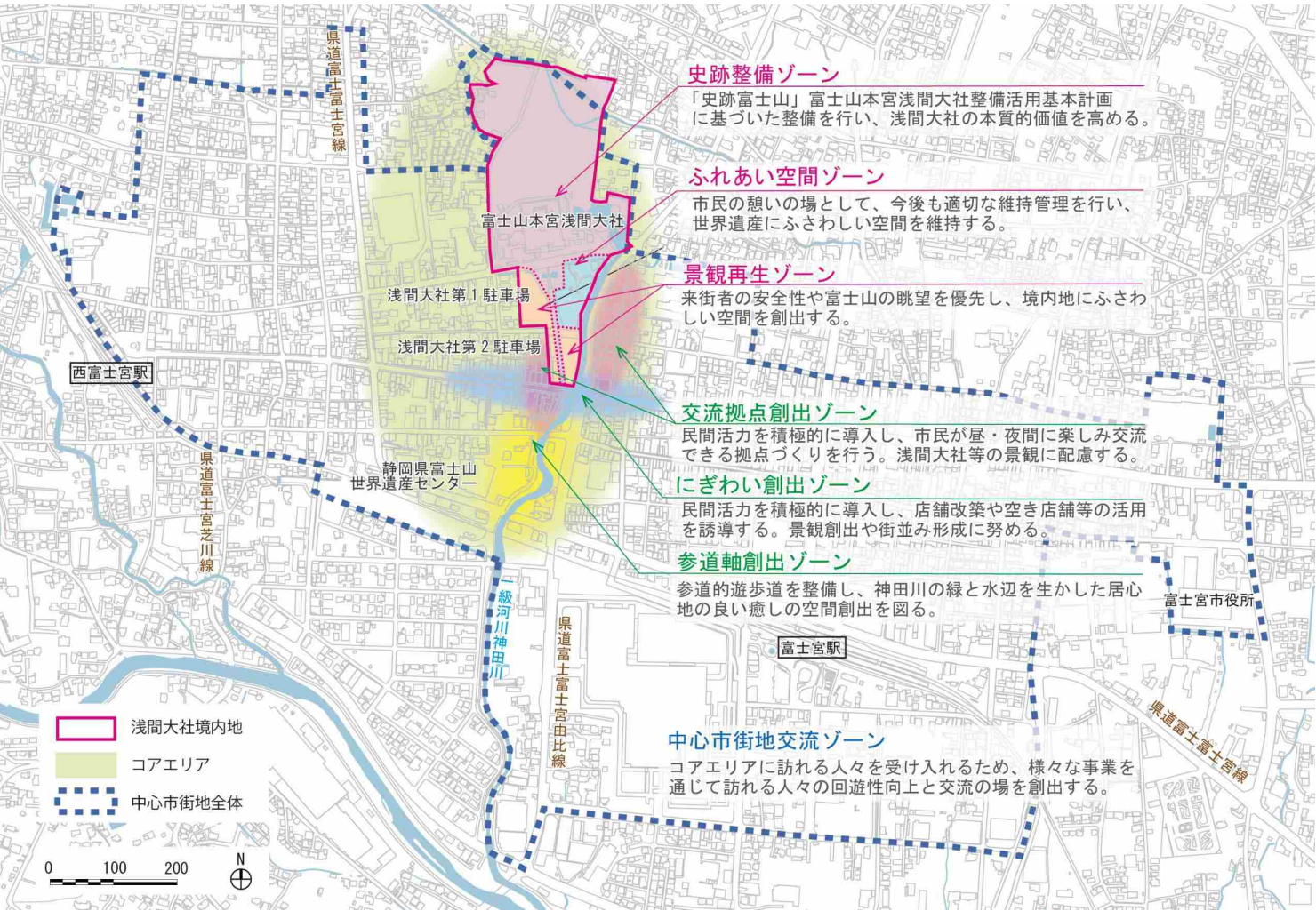
富士宮市 世界遺産のまちづくり 整備基本構想とは

■ 基本構想の目的

富士宮市は、富士山本宮浅間大社の門前町として栄えてきたまちです。平成25年の富士山の世界遺産登録、平成29年の静岡県富士山世界遺産センターオープンを経て、富士宮市中心部は世界遺産富士山の拠点と呼べる地域となりました。本構想は、このような状況を踏まえ、富士山信仰の地としてのあるべき姿を広く市民と共有し、まちの再生を図るべく、世界遺産を生かした今後のまちづくりの指標となる基本的な考え方や具体的な施策をまとめたものです。当初の策定から約10年が経過したため、社会情勢の変化や本構想に基づく事業の進展を反映するため、令和7年3月に改定を行いました。

■ 対象エリアとゾーン区分

中心市街地内の世界遺産関連施設・観光施設は、富士山本宮浅間大社から南に延びるごく狭いエリアに集中しています。このエリアを基本構想策定区域（コアエリア）とし、基本構想に基づく整備事業の重点区域とします。基本構想に基づく各個別事業は、浅間大社境内、コアエリア、中心市街地の3つのエリア毎にゾーン区分を設け、各ゾーンにおける整備の方向性を整理した上で、計画内容等を記載しました。



■ 現状と課題

コアエリアを主とした中心市街地における課題を項目毎に整理しました。

番号	課題点
1 車両・歩行者動線	
① 浅間大社の第2駐車場における歩者分離	
② 県道富士宮富士公園線一部区間の歩道整備	
③ 回遊性に資する安全かつ魅力的な歩行者動線の整備	
④ まちなかの観光サインの充実	
2 環境・景観	
⑤ 神田川兩岸の一体的な空間創出	
⑥ 参道軸の緑化・水と緑を活かした整備	
3 民活・店舗・施設	
⑦ 観光地としての魅力を備えた商店街づくり	
⑧ 宿泊施設数の増加、魅力ある宿泊施設の誘致	
⑨ 回遊性向上のためのインフォメーションセンターの整備	
⑩ 夜間営業の交流スポット整備	
4 浅間大社	
⑪ 宮町5号線及び浅間大社第2駐車場における参道整備	
⑫ 浅間大社建築物の修復及び保全と文化的価値向上	
⑬ 桜を中心とした樹木の長期的な保全と更新	
⑭ 神田川ふれあい広場の維持管理	



浅間大社第2駐車場



湧玉池から流れる神田川

エリアが抱える問題に対処し、世界遺産のまちづくりを推進する上での主な課題を以下の4点にまとめました。

① 観光客動線を踏まえた参道軸の整備（南北軸）

世界遺産センターと浅間大社を結ぶ動線整備が急がれます。

② 浅間大社の門前町として栄えてきた街道の強化

（東西軸）商店街を生かしたまちづくりが求められます。

③ 中心市街地全体における回遊性の向上

観光客の滞在時間を延ばし、消費額の向上を目指します。

④ だれもが安心して楽しめる安全性の確保

老若男女問わず、安心して歩き、楽しめる空間整備が必要です。

■ 基本理念

富士山信仰の歴史・文化が香る にぎわいとおもてなしのまちづくり

富士宮市は古くから浅間大社の門前町として栄え、多くの歴史・文化的資源や豊富な湧水をはじめとする富士山の恵みに育まれてきました。本構想では、このような門前町のにぎわいとおもてなしの心の醸成、世界遺産となった貴重な文化的資源・歴史及び富士山の恵みを生かし、世界遺産にふさわしいまちづくりを目指します。現在あるものをただ守るだけでなく、本質的価値を高め、来訪者が何度でも訪れたくなるとともにそこに住む人が誇りを持って住み続けられるまちづくりを進めます。

■ 基本方針

基本理念を踏まえ、各種事業を推進していく上での3つの基本方針を定めました。

○ 浅間大社を中心とした信仰の地にふさわしい文化的空間の創出

富士山信仰の地としてよりふさわしいものとするため、浅間大社の本質的価値を高めるよう整備するとともに、地域に根付き継承されている歴史・文化を生かしたまちづくりを行います。

○ 豊かな自然を生かした癒しの創出

湧玉池から流れる神田川や富士山の眺望点等を生かし、「清流の美」「空間の美」「庭園の美」をコンセプトとした居心地の良い癒しの空間整備を行い、市民が誇りの持てる品格のあるまち、心の癒されるまちづくりを行います。

○ 門前町としてのにぎわいの創出

浅間大社の門前は、大宮の市が開かれるなど、商業地としても栄えてきたまちです。住民にとっても来訪者にとっても魅力あるまちを目指すため、歩いて楽しい回遊性のある賑わいのまちづくりを行います。

■ これまで完了した主な事業

基本構想に基づく個別事業のうち、主なものを記載します。本頁には、基本構想に基づき実施され、すでに完了している事業を記載、p5-6には実施中・計画中の事業を記載しています。各事業はエリア・ゾーン毎に記載し、各事業説明の右下にエリア・ゾーン名を記しています。

神田川ふれあい広場整備事業

昭和39年に浅間大社境内地の一部を児童遊園として整備してから、長く市民に親しまれており、平成28年度に「国史跡としてふさわしい水と緑の空間創出」をコンセプトとした公園の再整備を行った。観光客と住民が共存するふれあいの空間となっている。



浅間大社境内／ふれあい空間ゾーン

市営駐車場から浅間大社までの歩行者動線整備事業

安全な歩行者動線を整備し、来訪者の安全を確保した。県道富士宮富士公園線（浅間大社南側）や県道富士富士宮線（せせらぎ広場前）への横断歩道を設置した。



コアエリア／参道軸創出ゾーン

一級河川神田川環境整備事業

連続性のある貴重な水辺空間を提供できる場所として、せせらぎ広場周辺の整備を完了した。引き続き、未整備区間の整備を進める。



コアエリア／参道軸創出ゾーン

市道宮町5号線拡幅事業（暫定整備）

神田川広場整備事業（暫定整備）

参道軸創出のための整備に向けて、お宮横丁と市道宮町5号線間の敷地の暫定整備及び神田川広場の暫定整備を行った。



コアエリア／参道軸創出ゾーン

富士山本宮浅間大社西側市有地整備事業

浅間大社周辺のにぎわい創出と中心市街地の周遊性の向上を図るため、浅間大社西側市有地に民間活力を活用した商業施設を整備した。



コアエリア／にぎわい創出ゾーン

花と食の元気広場等整備事業

浅間大社周辺の交流拠点創出と中心市街地の回遊性向上を図るため、浅間大社東側市有地に民間活力を活用した商業施設を整備した。



コアエリア／交流拠点創出ゾーン

県道富士宮富士公園線歩道整備事業

来訪者の安全確保のため、県道富士宮富士公園線沿い歩道の事業化要望を静岡県に行い、歩道整備を推進した。



コアエリア／交流拠点創出ゾーン

駐車場整備事業

市営神田川観光駐車場の整備を行った。コアエリア内に大型観光駐車場を整備したことにより、主要な交通手段である乗用車及びバスの来訪者が参道軸を通過する動線を生み出した。



コアエリア／その他

案内サイン等整備事業

平成30年度までに、来訪者の回遊性向上や外国人観光客への対応に必要な案内サイン・標識等の整備を行った。



中心市街地／中心市街地交流ゾーン

浅間町フレンドパーク新設事業

JR身延線鉄道高架化事業に関連し、浅間町フレンドパークを整備し、来訪者が滞留できる空間を創出した。



中心市街地／中心市街地交流ゾーン

(都) 野中棒杭線都市計画事業 (JR富士宮駅付近JR身延線高架化事業)

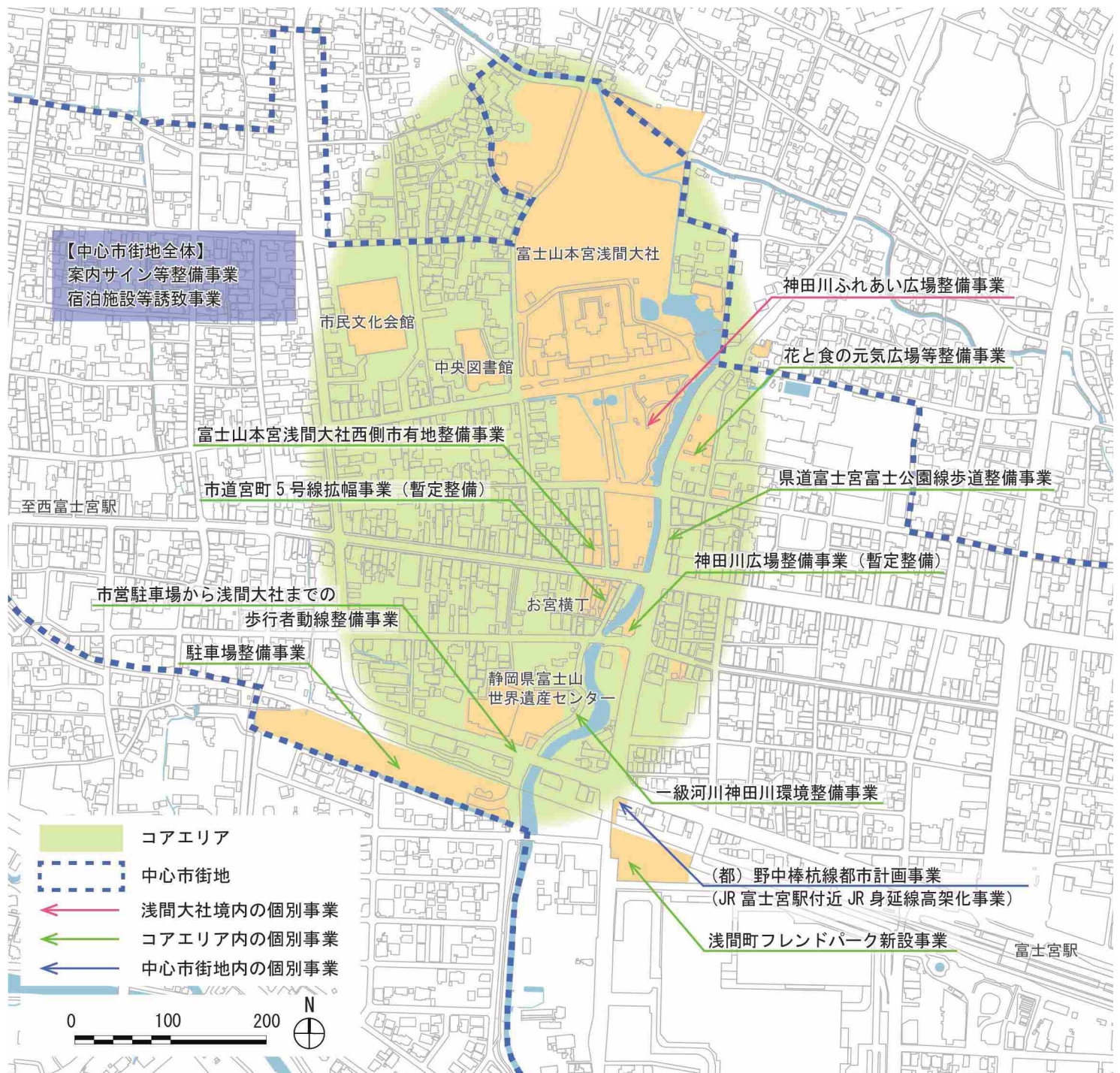
JR身延線鉄道高架化事業に関連し、浅間大社南交差点及び同交差点南側の歩道整備を行い来訪者の動線を整えた。

中心市街地／中心市街地交流ゾーン

宿泊施設等誘致事業

宿泊施設新設事業者に対し補助金交付等を行い、中心市街地内では2件の宿泊施設を誘致した。

中心市街地／その他



■ 今後行う主な事業

建造物保存整備事業

「史跡富士山」富士山本宮浅間大社整備活用基本計画に基づき、建造物の修復を行う。また、浅間大社の総合調査を行い、適切な保存管理や本殿の国宝指定等、文化的価値の向上を目指す。



浅間大社境内／史跡整備ゾーン

浅間大社周辺植栽計画策定事業

神田川沿いの良好な歩行空間や境内地内全体の景観を長期的に保全するため、桜を中心とした植栽の樹齢や状態を調査し、植栽計画策定の検討を図る。



浅間大社境内／全体

世界遺産センターから浅間大社までの参道軸創出事業

市による一般市道宮町5号線の整備と県による神田川右岸の整備を行い、参道軸を形成する。また、お宮横丁隣接地にエントランス・インフォメーションを整備し、回遊性向上を目指す。



コアエリア／参道軸創出ゾーン

神田川左岸整備事業

神田宮橋以南を含む神田川左岸の参道軸創出ゾーンにおいて、緑地としての公園的整備を行い、癒しの空間を創出する。



コアエリア／参道軸創出ゾーン

空き店舗等対策事業

空き店舗へ出店する際の補助を行い、民間活力を生かして、浅間大社の門前町としてのにぎわいを創出する。



コアエリア／にぎわい創出ゾーン

お宮横丁整備事業

民間活力を活用し、浅間大社周辺のにぎわい創出と中心市街地の回遊性向上の拠点の一つとして、再整備を行う。



コアエリア／にぎわい創出ゾーン

県道富士宮富士公園線歩道整備事業

県道富士宮富士公園線沿いの歩道整備を行う。一部区間を除き完了している。



コアエリア／交流拠点創出ゾーン

富士山本宮浅間大社西側市有地整備事業 富士山本宮浅間大社東側市有地整備事業 長屋門レストラン棟・長屋門賃貸借事業

交流拠点創出と中心市街地の回遊性向上を図るため、民間活力を活用して整備した各施設について引き続き運用を行う。



コアエリア／交流拠点創出ゾーン

富士宮駅前広場等施設整備事業

富士宮駅前広場、ペデストリアンデッキ及び南口ふれあい広場の施設整備により、富士宮の玄関口にふさわしい景観とユニバーサルデザインに配慮した整備を進める。



中心市街地／中心市街地交流ゾーン

公共サイン追加整備

公共サインが不足している箇所について、追加調査及び整備を実施する。特にJR富士宮駅から浅間大社に至るサイン及び神田川駐車場から参道軸へ導くサインについて見直しを行う。



中心市街地／中心市街地交流ゾーン

中心市街地の再整備に関する検討

交流拠点づくりや建物の共同建替、駐車場の集約化等の市街地整備事業を検討し、昼夜を問わず、歩いて楽しいにぎわいある空間づくりを目指す。



中心市街地／中心市街地交流ゾーン

宿泊施設等誘致事業

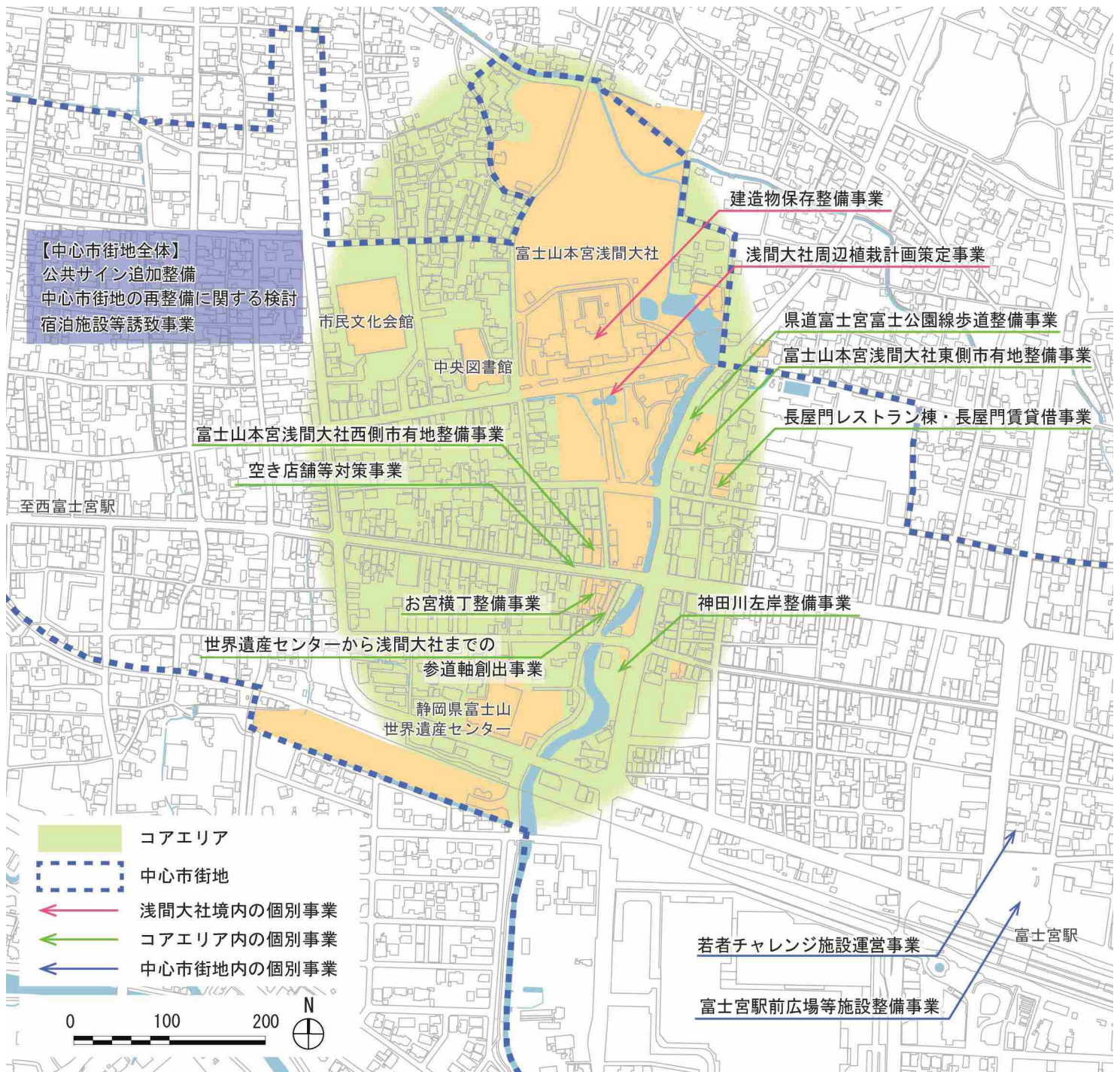
ホテル誘致の専門的な知見を持つ民間事業者と連携し、ホテル誘致の活動を強化する。

中心市街地／中心市街地交流ゾーン

若者チャレンジ施設運営事業

本市を訪れる若者や市内の若者世代をターゲットとした、チャレンジ支援イベント・プログラムを実施する。

中心市街地／中心市街地交流ゾーン



コアエリアイメージパース



中心市街地イメージパース



富士宮市世界遺産のまちづくり 整備基本構想 概要版

策定 平成27年3月

改定 令和7年3月

発行 富士宮市

編集 富士宮市企画部富士山世界遺産課
〒418-8601

静岡県富士宮市弓沢町150番地

TEL : 0544-22-1111 (代)

E-mail : sekai@city.fujinomiya.lg.jp

